

スプリングレビュー調書

公園緑地部

【協議事項】

- ①「風致地区」指定の見直しについて

【現状と課題】

- ・風致地区は、都市計画法で定める地域地区の一つであり、現在、7地区（曳馬野・佐鳴湖・和合富塚・海岸・新弁天島・吹上・浜表）で、1,272.6haを指定している。
- ・風致地区内においては、緑を生かし自然的環境を維持保全することにより良好な景観を形成するため、建築物の建築、宅地の造成、木竹の伐採その他の行為について浜松市風致地区条例により規制しているが、開発・建築といった行為を認めつつ、一定の規制基準を設ける制度であるため、一部には開発の進んだ地域があることも事実である。
- ・このため、土地利用の状況等を総合的に勘案し、実態に即した地区指定を図ることが必要であると認識する中で、平成20年4月には、第1種風致地区の建ぺい率の見直しをしたところであるが、現状においては、風致地区指定区域境と実際の道路や地形が合致していない箇所や自然景観の価値が低下した箇所、また、企業誘致等開発計画への対応など、区域の見直しや種別の変更を行う必要が生じている。

【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・平成22年度から施行した「浜松市緑の基本計画」に基づき、健全な都市づくりを進めるため、水辺と調和した美しい自然景観が残る浜名湖周辺など郷土的意義のある地域や自然豊かな地域では、一定の土地利用を容認しつつも良好な自然景観の維持保全を図るよう指定地域を拡大し、また、既指定地区においては区域の見直しや種別の変更など実態に即した対応を進め、風致の適正な維持保全に努めていく。
- ・このことから、風致地区指定区域境の状況や土地利用の実態を把握するため早期に調査・分析したうえで、新たな区域指定や既指定区域の見直しに関する基本方針を策定し、具体的な見直しを進める考えである。

【今後の主要事業(案)】

- ・風致地区指定見直し事業（平成22年度～平成26年度）
 - H22：風致地区指定区域の概況調査、見直しに関する基本的方針の確認
 - H23：風致地区指定区域境や土地利用の状況、拡大予定区域等の調査分析、指定方針の作成
 - H24：風致地区の指定及び見直し等に関する関係者への説明
 - H25：風致地区の指定及び見直し等に関する都市計画の手続き
 - H26：風致地区の指定及び見直し等の施行

【協議要旨】

- ◆ 基本方針の策定について検討を進める。

スプリングレビュー調書

公園緑地部

【協議事項】

②アフリカ園（ミニサファリ）の再整備について

【現状と課題】

- ・昭和 58 年の開園以来 27 年が経過し、施設の老朽化が著しい状況にある。
- ・少子高齢化やレジャーの多様化など動物園を取り巻く社会環境が変化する中で、入場者数は減少傾向にある。
 入園者数 H18 年度 400,408 人 H19 年度 387,432 人 H20 年度 361,147 人
 H21 年度 339,807 人（モザイ入場者数除く）
- ・入場者の増加に向けて、動物の生態や行動に主眼をおいた魅力的な展示施設の設置が求められている。
- ・平成 21 年 3 月にオープンした新小獣舎によって、入園者数は平成 21 年度 8 月までの累計は前年比 13%増の実績を示し、施設のリニューアルは入園者の増加に大きな効果を上げている。
- ・日本平動物園や豊橋動植物園など、近隣類似施設における設備投資に関する計画やその効果がクローズアップされる中、当園における対応は急務な状況にある。

【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・老朽化した施設の再整備を進めながら、野生動物の本来の生息地に近い生態的な展示方法を採用するなど、入園者に新たな驚きと発見を提供できる施設整備を行う。
- ・長期総合整備計画（平成 19 年度～平成 30 年度）に基づいて、施設整備を着実に進める。

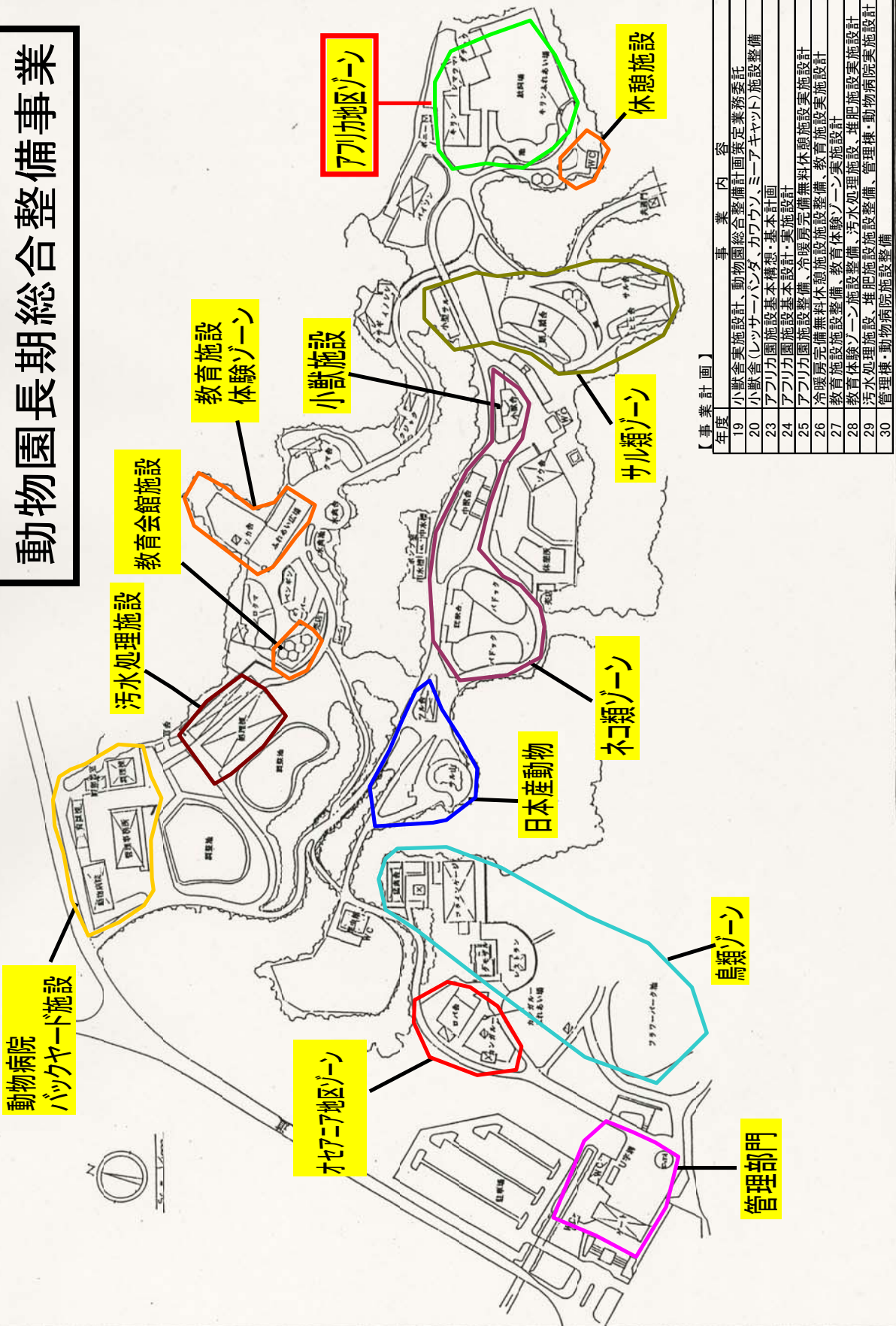
【今後の主要事業(案)】

- ・平成 23 年度に、アフリカ園（ミニサファリ）の基本構想・基本計画を策定する。
- ・平成 24 年度に、アフリカ園（ミニサファリ）の基本設計・実施設計を策定する。
- ・平成 25 年度に、アフリカ園（ミニサファリ）の再整備工事を進める。
- ・引き続き、冷暖房完備無料休憩所、教育施設、教育体験ゾーン、汚水処理施設、管理棟・動物病院の再整備を順次進める。

【協議要旨】

- ◆ アフリカ園の再整備については休憩施設と一体的に計画を進めるとともに、ゴールデンライオンタマリンの宣伝など、動物園の効果的な PR 方法について検討する。

動物園長期総合整備事業



【事業計画】

年度	事業内容
19	小獣舎実施設計、動物園総合整備計画策定業務委託
20	小獣舎(レッサーパンダ、カワウソ、ミーアキャット)施設整備
23	アフリカ園施設基本構想・基本計画
24	アフリカ園施設基本設計・実施設計
25	アフリカ園施設整備・冷暖房完備無料体預施設実施設計
26	冷暖房完備無料体預施設施設整備、教育施設実施設計
27	教育施設施設整備、教育体験ゾーン実施設計
28	教育体験ゾーン施設整備、汚水処理施設、堆肥施設実施設計
29	汚水処理施設、堆肥施設施設整備、管理棟・動物病院実施設計
30	管理棟・動物病院施設整備

スプリングレビュー調書

公園緑地部

【協議事項】

③江之島水泳場 50m プール及び飛び込みプールの利活用について

【現状と課題】

古橋廣之進記念浜松総合水泳場が平成 21 年 2 月 7 日にオープンした。これに伴い、公認の取れない江之島水泳場の 50m プール及び飛び込みプールは、現在未使用の状態である。(条例廃止済)

このプールの解体には、約 1 億 3 千万円かかり、国庫補助金の返還対象となっていることから、すぐには解体できない状況であるため、利活用のあり方を考える必要がある。

【課題解決に向けた今後の方向性】

スポーツ振興課より、アーチェリー練習場の新設場所の調査依頼があり、江之島水泳場の一角(50m プール及び飛び込みプールの東側)を候補地として提案する。

候補地を江之島水泳場とした理由

- ・ 施設の立地条件(方角・規模)が整っている。(射的の方角が南から北へ射ることができる。)
- ・ 想定施設基準…20m×100m、フェンス、防弓ネットの確保が可能。
(管理棟、器具庫及びトイレ等は既存の施設を利活用できる。)
- ・ 駐車場については、プール北側に約 360 台(普通車)収容可能な駐車場がある。
- ・ 概算工事費…約 1 億円
- ・ 既存施設概要(中沢)…18m×90m、器具庫(30 坪)及び照明灯が設置されている

※予算はスポーツ振興課で要求、公園課は技術協力。

【今後の主要事業(案)】

- ・ アーチェリー練習場建設事業(平成 23 年度：実施設計、平成 24 年度整備工事)

【協議要旨】

- ◆ **江之島水泳場内(屋外)へのアーチェリー練習場設置について、検討を進めるとともに、事業費について精査を行う。**

スプリングレビュー調書

公園緑地部

【協議事項】

- ④公園施設長寿命化計画策定事業について

【現状と課題】

- ・公園施設の老朽化が顕著であり、ファシリティ マネジメントの必要性が高まっている。
開設後 20 年以上経過した都市公園 … 全体の約 47% 235 公園／504 公園
- ・将来的に維持管理費、改築費の増大が予測される。

【課題解決に向けた今後の方向性】

- ・事後的な維持管理から、予防保全的な維持管理への転換を図る。
- ・適切な施設点検及び維持補修を行い、施設の長寿命化を図るための計画を策定する。
- ・計画的な維持管理により改修、更新時期を平準化し、施設のライフサイクルコストをコントロールする。
- ・施設の改修、更新にあたっては、「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」を始めとする国庫補助等、様々な制度を活用し、経費の削減を図る。
- ・生活に安らぎと潤いを与え、来園者に喜ばれる公園を取り戻す。

【今後の主要事業(案)】

- ・公園施設長寿命化計画策定事業（国庫 1/2 補助）
※平成 27 年度以降、全ての都市公園事業における公園施設の改築・更新に対する国庫補助の採択については、市が策定する「公園施設長寿命化計画」に基づき適切に維持管理されている施設に限定される。

【協議要旨】

- ◆ 提案のとおり、計画の策定を進める。

